

札幌市中央図書館がリニューアルオープン!



大規模改修を行っていた札幌市中央図書館（中央区南22西13）が4月2日、リニューアルオープン。このたび現地を視察しました。

館内は「本の森」をテーマにデザインを一新、本棚や壁のなどに道産のスギ材などをふんだんに使い、ぬくもりのある雰囲気となっております。

この改修を機に新設された電子図書館コーナーでは、デジタル絵本などを閲覧できる大型のタッチパネル端末が設置されました。

また、これまで2階にあった社会科学や歴史の書籍を一般図書が集まる1階に移動するなど、蔵書の配置替えも行い、来館者の利便性を高めました。

訪れた市民からは「きれいになった」「木の香りがする」などと喜びの声が聞かれました。

平成26年度予算がスタート!!

史上最高額

一般会計	8,848億円	福祉や教育、道路整備など市の基本的な事業の会計
特別会計	3,607億円	国民健康保険など、一般会計と区別が必要な会計
企業会計	2,908億円	地下鉄や水道など、料金収入で運営する事業の会計

歳出(支出)



歳入(収入)



一般会計予算の内訳

26年度予算のポイント

優先して取り組む「3つのテーマ」

暮らし・
コミュニティ

産業・活力

低炭素社会・
エネルギー転換

市民1人当たりの市税と負担 144,862円/年
市民1人当たりのサービスに掛かる費用 456,596円/年

◆ 保育所待機児童の解消を促進

【27億9,656万円】

私立保育所の新築、増改築などの費用に補助などを行ない、保育所を1,180人増やします。新たに市立幼稚園で8時～18時の間、子どもを預けられる「預かり保育」を始めるなど、保育サービスをさらに充実させます。



◆ 5歳児健診・発達相談がスタート

【1,530万円】

3歳児健診から就学時健診までの間に、発育・発達の確認や支援、児童虐待の発見や予防、就学に向けた相談など、切れ目のない母子保健サービスを実施し、子育ての不安や悩みの解消につなげていきます。



10月から

◆ 旧真駒内緑小学校を地域交流の場に

【2億5,000万円】

平成23年に閉校した旧真駒内緑小学校を改修し、小規模保育と常設の子育てサロンの整備、子どもの体験活動や多世代交流・地域連携の場を作ります。



27年度
オープン

◆ 特別養護老人ホームの定員を240人増員

【5億5,500万円】

在宅での生活が難しい高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホームの新築費用等を補助。新設する施設内には、災害時に介護が必要な方を受け入れるスペースを設けます。



◆ 災害に強い学校づくりに向けた取り組み

【10億4,220万円】

公明党の推進により学校の耐震化が着実に図られています。さらに避難所の窓ガラス飛散対策や飲料水の確保、加えて救援物資の備蓄を増やします。また避難場所の運営手順を学ぶ研修(HUGハグ)についても実施するなど、災害対策を進めます。



◆ 北海道の食産業を世界へ

【1,880万円】

今世界では日本食ブームが起きていますが食品の輸出は簡単ではありません。そこで店ごと海外へ進出することも一つの方法です。今回アジアで道内の飲食店が出店するイベントを開催。さらに道産日本酒などの輸出拡大へ、海外と道内企業の橋渡しにも取り組みます。



◆ 中小企業の経営支援を強化充実

【807億3,400万円】

中小企業の経営改善を応援するため、「経営力強化支援資金」の融資利率を1.3%に引き下げるなど、安定した資金の調達を支えます。さらに「収益率の低下」などの課題も解決に向けて経営改善などに活用できる相談体制の充実・強化を図ります。

◆「札幌国際芸術祭2014」 が開催

【4億4,800万円】



いよいよ本年7/19(土)から9/28(日)までの約70日間の日程で札幌国際芸術祭が開催されます。期間中は国内外のアーティストが参加し、多彩な芸術作品やパフォーマンスを披露、市民のみなさんが芸術と触れ合えるイベントが多数開催されます。



◆大通地下交流拠点の魅力ある広場に

【11億4,000万円】

大通地下交流拠点の再整備が着々と進められています。公明党の働きかけにより、国内外の観光客や障がい者にも配慮した案内サインの充実や、観光文化情報ステーションに多言語対応のコンシェルジュ機能を持たせることになりました。



◆市南部に高等支援学校を新設

【3,000万円】

知的障がい高等支援学校への増加する入学希望者への対応と市北西部への偏在を解消するため、旧賣駒内小学校跡地に新たに高等支援学校を整備（平成29年度開設）します。26年度は学校基本設計と校舎を解体する設計を行います。



◆円山動物園に新しい施設 が続々と誕生

【15億9,450万円】

円山動物園では平成27年にアフリカゾーン、平成28年に新ホッキョクグマ館がオープンします。また、昨年度は入場者アップの取組みとして学生無料月間の設定や、高齢者団体向け見学ルートの実証実験も行いました。本年度は円山公園第2駐車場が立体化されます。公明党はその駐車場にエレベーターの設置を要望しています。



アフリカゾーン完成図。11種類の動物を展示する予定。

◆空き家対策を強化

【760万円】

空き家の増加が社会問題化しており、特に倒壊のおそれがある危険な空き家は、市民の生命や財産を脅かすことからその対策が急がれます。26年度は、危険な空き家の調査、空き家情報を管理するためのシステム開発、空き家対策の検討などを行います。



◆まちづくりセンターに発電・ 蓄電設備を導入

【4,200万円】

まちづくりセンターへ、太陽光発電と蓄電設備を組合せた電力システムを導入し、消費電力のピークカットや災害停電時に備えます。（平成26年度：幌北、西岡、北野まちづくりセンター）



ニュース 1

4月から納税がより一層便利に、
携帯電話やスマートホンから納税できるようになりました。

4月から、携帯電話やスマートホンから税金の支払いができる新たな仕組み「モバイルレジ」が始まります。

これは、納税方法を増やし、より税金を納めやすくするために行うもの。携帯電話で、いつでもどこでも納められるようになります。

利用するにはインターネットバンキング・モバイルバンキングの利用申し込みが必要。詳細は納税通知書に同封するチラシをご確認ください。



ニュース 2

児童虐待への防止に向け体制強化が図られます。

年々増加している児童虐待への対策として、今年度から児童相談所に地域連携担当課が新設、北海道警察からも派遣受入を行うことになりました。

また、小児科医などの医療機関への研修や企業連携の強化、さらにはオレンジリボン協力員の研修充実が図られます。



ニュース 3

「こころの安心カード」をスタートさせます。
(全国で初めての取り組み)

精神疾患のある方は夜間休日に体調が悪化した場合、対処法がわからず不安が増したり、主治医のいない救急病院で病状や薬の説明がうまく出来ずに治療が難しいことがあります。

このカードを主治医と一緒に作成し、常に持ち歩くことにより不調時にどのように対処すれば良いのか自身で確認できることや、初めて診察する医師などにも情報が伝わりやすくなります。

* 詳細は札幌市HP参照

<http://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/jiritsushien/kokoronoanshincard.html>

(表)

医療機関名や病名、服用中の薬の種類、合併症などを医療機関が記載

(裏)

主治医と一緒に、不調時の対処方法を記載

他に通院している医療機関があれば記載